

大学 文学部 日本語日本文学科
短大 日本語文化学科
大学院 文学研究科 日本語日本文学専攻

「教員養成の教育の質向上に係る取り組み」
ー全学的取り組みも含むー

1 教務関係

- 1) カリキュラムマップの作成
 - 科目目的と到達目標の再確認
 - 科目目的・到達目標とディプロマポリシーとの整合性の確認
 - 上記についての科目担当者との調整
- 2) 教職履修カルテの作成
 - 教職履修カルテと「教職実践演習」との連動
- 3) カリキュラムの改革
 - 科目の年次配列の工夫
 - 外国語活動必修化へのカリキュラム的対応

2 FD関係

【全学的な取り組み（教職課程を含む）】

- 1) 新任教員研修（15回）の実施
- 2) 授業アンケートの実施
- 3) FD推進委員会の設置
- 4) 教育改革講演会の実施
- 5) FD研修会・勉強会の実施
- 6) 各学科のFDの取り組み状況についての情報共有
- 7) 専攻長会議の実施
- 8) 大学院博士後期課程プレFD科目の開講
- 9) FDニュースの発行

【学科としての取り組み】

- 1) カリキュラム検討委員会の設置
- 2) 講演会の開催

3 その他

- 1) 特別対策講座の開催
- 2) クラス担任制
- 3) 海外研修制度の充実
 - MUSCプログラム（アメリカ分校への約3週間の留学プログラム）
- 4) 実習の引率指導
- 5) 附属中高との連携（授業参観）

大学 文学部 英語文化学科 / 文学部 英語グローバル学科
短大 英語キャリア・コミュニケーション学科
大学院 文学研究科 英語英米文学専攻

「教員養成の教育の質向上に係る取り組み」
ー全学的取り組みも含むー

1 教務関係

- 1) カリキュラムマップの作成
 - 科目目的と到達目標の再確認
 - 科目目的・到達目標のディプロマポリシーの整合性の確認
 - 上記についての科目担当者との調整
- 2) 教職履修カルテの作成
 - 教職履修カルテと教職実践演習との連動
- 3) カリキュラムの改革
 - 選択科目の拡充
 - 系選択に関わるガイダンスの充実
 - 科目の年次配列の工夫
 - 共通教育・基礎教育科目、専門科目の3区分の授業内容の充実

2 FD関係

【全学的な取り組み（教職課程を含む）】

- 1) 新任教員研修（15回）の実施
- 2) 授業アンケートの実施
- 3) FD推進委員会の設置
- 4) 教育改革講演会の実施
- 5) FD研修会・勉強会の実施
- 6) 各学科のFDの取り組み状況についての情報共有
- 7) 専攻長会議の実施
- 8) 大学院博士後期課程プレFD科目の開講
- 9) FDニュースの発行

【学科としての取り組み】

- 1) 英文学会関連委員会：講演会の企画・運営（年2回）、Mukogawa Literary Reviewの発行
- 2) 非常勤講師懇談会：専任教員と非常勤講師間の授業方法等に関する意見交換
- 3) LINKレポートの作成：授業の取り組みに関する科目及び系コーディネータによる報告と学科及びアメリカ分校の教員間での共有
- 4) 学科教員によるアメリカ分校での授業参観と授業者との意見交換
- 5) アメリカ分校の教員とのシラバスに関する協議
- 6) アメリカ分校の教員による西宮キャンパスでの授業参観と授業者との意見交換
- 7) 系のメンバーによる専門科目の内容等についての協議
- 8) 同一科目のシラバスの共有：科目コーディネータが複数クラスで展開されている科目の統一シラバスを作成し、授業担当者間で教材、指導及び評価の方法と計画を共有
- 9) 委員会のキックオフミーティング：教育活動の活性化と効率化のために、年度初めに各委員会が活動内容を協議
- 10) 委員会レポートの作成：年度末に各委員会の活動内容を学科内で共有

3 その他

- 1) 教職支援委員会の設置 (2017年より): 教職関連の指導, English Teaching Seminar の企画・運営、教員採用試験対策講座の実施
- 2) 教育実習の引率指導
- 3) クラス担任制 (大英・英G・短英新)
- 4) 特別クラス ACE(Advanced Course in English) (一定の選抜基準を満たした大英・英Gの学生対象)
- 5) 専門性を高める系制度(大英: 3・4年次, 短英新: 2年次)
- 6) アメリカ分校へ留学(大英: 2年次前期全員参加, 短英新: 1年次後期全員参加)
- 7) アメリカ分校のエクステンション・プログラム (大英: 2年・3年次後期希望者)
- 8) 海外の協定大学との交換留学制度
- 9) MELS(英語学習支援システム): 大英3年次編入学生とアメリカ分校留学から帰国した短英新の学生が受講
- 10) 英語相談室運営
- 11) 学習カードシステムの構築 (eポートフォリオ)
- 12) 英語多読の指導: Graded Readers を利用した多読・書評執筆指導
- 13) LLライブラリー: 語学学習教材の収集・貸出, 自習室とSkype室の運営
- 14) 自学自習環境の整備 (ライティング・プラザなど)

大学 教育学部 教育学科
短大 幼児教育学科
大学院 文学研究科 教育学専攻

「教員養成の教育の質向上に係る取り組み」
ー全学的取り組みも含むー

1 教務関係

- 1) カリキュラムマップの作成
 - 科目目的と到達目標の再確認
 - 科目目的・到達目標とディプロマポリシーとの整合性の確認
 - 上記についての科目担当者との調整
- 2) 教職ファイルの作成
 - 教職ファイルと「教職実践演習」を始めとする全科目との連動
- 3) カリキュラムの改革
 - コース制による取得免許の絞り込み
 - 選択科目（「発展プログラム」と呼称）の拡充
 - コース選択に関わるガイダンスの充実
 - 科目の年次配列の工夫
 - 通常学級における特別支援教育に関する科目の充実
 - 小学校における外国語教育導入に対応するカリキュラムの充実
 - I C Tやプログラミングに対応する科目の充実

2 F D関係

【全学的な取り組み（教職課程を含む）】

- 1) 新任教員研修（15回）の実施
- 2) 授業アンケートの実施
- 3) F D推進委員会の設置
- 4) 教育改革講演会の実施
- 5) F D研修会・勉強会の実施
- 6) 各学科のF Dの取り組み状況についての情報共有
- 7) 専攻長会議の実施
- 8) 大学院博士後期課程プレF D科目の開講
- 9) F Dニュースの発行

【学科としての取り組み】

- 1) 学科F D勉強会の開催
- 2) 教育学科研究会の開催

3 その他

- 1) 教育実習・保育実習の引率指導
- 2) 学校教育館の整備と活用
 - 模擬授業教室の活用
 - 授業内容の紹介ポスター掲示
 - オープンスペースを活用した自学自習の推進
 - 学校教育センターとの連携
- 3) 特別講座の開催
- 4) 入学生用『教育学科への招待』の活用
- 5) クラス担任制

- 6) 取得希望免許・資格によるクラス分け（2年次より）
- 7) 入学生実態調査・学生実態調査
- 8) 海外研修制度の充実
 - MUSCプログラム（アメリカ分校への約4か月の留学プログラム）……新教2年後期
 - SMUプログラム（セントマーチンズ大学での約20日間の海外研修）
……新教1～4・短教1～2年の夏休み
- 9) 教育研究会
 - 講演会、研究発表会、地域別採用試験対策懇談会の開催
- 10) 近隣小学校教員を交えての学生指導及び研修会の開催

大学 健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科
スポーツマネジメント学科

短大 健康・スポーツ学科

大学院 健康・スポーツ科学研究科 健康・スポーツ科学専攻

「教員養成の教育の質向上に係る取り組み」
ー全学的取り組みも含むー

1 教務関係

- 1) カリキュラムマップの作成
科目目的と到達目標の再確認
科目目的・到達目標とディプロマポリシーとの整合性の確認
上記についての科目担当者との調整
- 2) 教職履修カルテの作成
教職履修カルテと「教職実践演習」との連動
- 3) カリキュラムの改革
「保健体育科指導法」科目の充実（「保健体育科指導法(体づくり運動・器械運動)」など）
科目の年次配列の工夫
教育実習を原則3年次に実施（健康・スポーツ科学科のみ）
教育実習に向けての講義内容の充実

2 FD関係

【全学的な取り組み（教職課程を含む）】

- 1) 新任教員研修（15回）の実施
- 2) 授業アンケートの実施
- 3) FD推進委員会の設置
- 4) 教育改革講演会の実施
- 5) FD研修会・勉強会の実施
- 6) 各学科のFDの取り組み状況についての情報共有
- 7) 専攻長会議の実施
- 8) 大学院博士後期課程プレFD科目の開講
- 9) FDニュースの発行

【学科としての取り組み】

- 1) 関連科目複数担当者による科目FD研修会の実施
- 2) 野外実習開講前の担当者FD研修会の実施
- 3) スノースポーツ実習、現地での指導教員による実技指導研修会の実施
- 4) 全学的FD研修会・勉強会への積極的な参加奨励
- 5) 外部団体主催FD研修会への参加奨励

3 研究関係

- 1) 学会での発表
- 2) 倫理教育の推進
- 3) 他機関との研究交流

4 その他

- 1) 教志ネットワークの発足と支援活動

公立学校への授業観察の実施

チョーク黒板の導入

オープンスペースを活用した自学自習の推進

- 2) 特別講座の開催
- 3) 教員採用試験合格への道のり（1年生～3年生対象）
- 4) クラス担任制
- 5) 各種実習の引率指導
- 6) 近隣小学校教員を交えての学生指導及び研修会の開催（健康・スポーツ科学科のみ）
- 7) 薬学部・生活環境学部との連携による3学部3学科連携協力プログラムの実施（健康・スポーツ科学科のみ）

「教員養成の教育の質向上に係る取り組み」
ー全学的取り組みも含むー

1 教務関係

- 1) カリキュラムマップの作成
科目目的と到達目標の再確認
科目目的・到達目標とディプロマポリシーとの整合性の確認
上記についての科目担当者との調整
- 2) 教職履修カルテの作成
教職履修カルテと「教職実践演習」との連動
- 3) カリキュラムの改革
コース制による取得免許の絞り込み
選択科目（「発展プログラム」と呼称）の拡充
コース選択に関わるガイダンスの充実
科目の年次配列の工夫
通常学級における特別支援教育に関する科目の充実
外国語活動必修化へのカリキュラム的対応

2 F D関係

【全学的な取り組み（教職課程を含む）】

- 1) 新任教員研修（15回）の実施
- 2) 授業アンケートの実施
- 3) F D推進委員会の設置
- 4) 教育改革講演会の実施
- 5) F D研修会・勉強会の実施
- 6) 各学科のF Dの取り組み状況についての情報共有
- 7) 専攻長会議の実施
- 8) 大学院博士後期課程プレF D科目の開講
- 9) F Dニュースの発行

【学科としての取り組み】

- 1) 教育の実践例紹介の実施
- 2) 生活環境学研究会の実施
- 3) 生活環境学科 卒業研究展の実施
- 4) 生活環境学科 卒業研究発表会の実施
- 5) 教育・研究誌（卒業研究・修士・博士論文要旨、学科教員による投稿論文の掲載）発行
- 6) 学生作品集（実習授業作品、卒業研究作品、各種受賞作品の掲載）発行
- 7) ギャラリー化（生活環境1.2号館廊下・ラウンジ、学長室への学生作品の展示）の実施

3 その他

- 1) 教室空間の改善と充実
授業内容の紹介ポスター掲示
オープンスペースを活用した自学自習の推進
- 2) 特別講座の開催
- 3) クラス担任制
- 4) 2年次より被服学、アパレル、生活デザイン、環境デザイン、建築デザイン、まちづくりの

6 コースに分かれる

(他コースの科目も履修でき幅広く学べる)

5) 海外研修制度を毎年企画 (海外語学研修、海外の生活環境研修 I・II)

「教員養成の教育の質向上に係る取り組み」
－全学的取り組みも含む－

1 教務関係

- 1) カリキュラムマップの作成
 - 科目目的と到達目標の再確認
 - 科目目的・到達目標とディプロマポリシーとの整合性の確認
 - 上記についての科目担当者との調整
 - 情報科免許取得のための履修モデルの提示
- 2) 教職履修カルテの作成
 - 教職履修カルテと「教職実践演習」との連動
- 3) カリキュラムの改革
 - コース選択に関わるガイダンスの充実
 - 科目の年次配列の工夫
 - 通常学級における特別支援教育に関する科目の充実
 - 外国語活動必修化へのカリキュラム的対応

2 FD関係

【全学的な取り組み（教職課程を含む）】

- 1) 新任教員研修（15回）の実施
- 2) 授業アンケートの実施
- 3) FD推進委員会の設置
- 4) 教育改革講演会の実施
- 5) FD研修会・勉強会の実施
- 6) 各学科のFDの取り組み状況についての情報共有
- 7) 専攻長会議の実施
- 8) 大学院博士後期課程プレFD科目の開講
- 9) FDニュースの発行

【学科としての取り組み】

- 1) 少人数によるアクティブ・ラーニングの導入
- 2) 学科メールマガジンの発行による学修内容の社会公開
- 3) Google classroomやクリッカーなどを使用した双方向型IT授業の導入

3 その他

- 1) 学校教育館の整備
 - 教室空間の改善（模擬授業教室の）充実
 - 授業内容の紹介ポスター掲示
 - オープンスペースを活用した自学自習の推進
- 2) クラス担任制
- 3) 入学生実態調査・学生実態調査
- 4) 海外研修制度の充実（「海外の生活情報研究」、「情報英語研修」）
- 5) 実習の引率指導

大学 食物栄養科学部 食物栄養学科
短大 食生活学科
大学院 生活環境学研究所 食物栄養学専攻

「教員養成の教育の質向上に係る取り組み」
ー全学的取り組みも含むー

1 教務関係

- 1) カリキュラムマップ・カリキュラムツリーの作成
科目目的と到達目標の再確認
科目目的・到達目標とディプロマポリシーとの整合性の確認
上記についての科目担当者との調整
- 2) 教職履修カルテの作成
教職履修カルテと「教職実践演習」との連動
- 3) カリキュラムの改革
科目の年次配列の工夫
外国語活動必修化へのカリキュラム的対応

2 FD関係

【全学的な取り組み（教職課程を含む）】

- 1) 新任教員研修（15回）の実施
- 2) 授業アンケートの実施
- 3) FD推進委員会の設置
- 4) 教育改革講演会の実施
- 5) FD研修会・勉強会の実施
- 6) 各学科のFDの取り組み状況についての情報共有
- 7) 専攻長会議の実施
- 8) 大学院博士後期課程プレFD科目の開講
- 9) FDニュースの発行

【学科としての取り組み】

- 1) 教育の実践例の紹介
- 2) 教職課程履修者の交流促進
- 3) 全学的FD研修会・勉強会への積極的な参加奨励
- 4) 外部団体主催FD研修会への参加奨励

3 その他

- 1) 食物栄養科学館、栄養科学館の整備
オープンスペースを活用した自学自習の推進
- 2) 特別講座の開催
教職従事者または教職採用試験合格者による教職採用試験対策講座の開催
- 3) クラス担任制
- 4) 入学生実態調査・学生実態調査
- 5) 海外研修制度の充実
MUSCプログラム（アメリカ分校への約1か月の留学プログラム）食栄2年夏休み
- 6) 栄養教諭履修者への個別面接指導
- 7) 各種実習の引率指導
- 8) 健康・スポーツ科学科および健康生命薬科学科との連携による3学科連携協力科目の実施

大学 音楽学部 演奏学科
応用音楽学科

専攻科 音楽専攻科 声楽専攻
器楽専攻

「教員養成の教育の質向上に係る取り組み」

ー全学的取り組みも含むー

1 教務関係

- 1) カリキュラムマップの作成
科目目的と到達目標の再確認、修正
科目目的・到達目標とカリキュラムポリシーおよびディプロマポリシーとの整合性の点検確認
上記についての科目担当者との調整
- 2) 教職履修カルテの作成と履修モデル・各段階における到達目標の提示
教職履修カルテと「教職実践演習」との連動について
科目担当者と調整
- 3) カリキュラムの改革
外国語活動必修化へのカリキュラム的対応
2年次演習の実施
副専声楽実技、副専ピアノ実技における教職の現場を想定した実技指導
教育実習履修要件の変更

2 FD関係

【全学的な取り組み（教職課程を含む）】

- 1) 新任教員研修（15回）の実施
- 2) 授業アンケートの実施
- 3) FD推進委員会の設置
- 4) 教育改革講演会の実施
- 5) FD研修会・勉強会の実施
- 6) 各学科のFDの取り組み状況についての情報共有
- 7) 専攻長会議の実施
- 8) 大学院博士後期課程プレFD科目の開講
- 9) FDニュースの発行

【学科としての取り組み】

- 1) 個人レッスンを公開し、意見聴取

3 その他

- 1) 学校教育館の整備
教室空間の改善（模擬授業教室の）充実
オープンスペースを活用した自学自習の推進
- 2) 特別学期学科プログラムにおいて教員養成教育を主眼とした講座の開講
- 3) クラス担任によるきめ細かな指導
- 4) 入学生実態調査・学生実態調査の活用
- 5) 音楽学部専任教員による個別相談・指導
- 6) 各種教育実習に伴う指導（事前、引率時、事後）
- 7) 卒業生による学生指導
- 8) 附属中学高等学校の授業見学
- 9) 模擬授業の充実

「教員養成の教育の質向上に係る取り組み」
ー全学的取り組みも含むー

1 教務関係

- 1) カリキュラムマップの作成
 - 科目目的と到達目標の再確認
 - 科目目的・到達目標とディプロマポリシーとの整合性の確認
 - 上記についての科目担当者との調整
- 2) 教職履修カルテの作成
 - 教職履修カルテと「教職実践演習」との連動
- 3) カリキュラムの改革
 - コース制による教職課程履修者への履修案内
 - 実験科目の充実
 - 選択科目の拡充
 - 科目の年次配列の工夫
 - 外国語へのカリキュラム的対応

2 F D関係

【全学的な取り組み（教職課程を含む）】

- 1) 新任教員研修（15回）の実施
- 2) 授業アンケートの実施
- 3) F D推進委員会の設置
- 4) 教育改革講演会の実施
- 5) F D研修会・勉強会の実施
- 6) 各学科のF Dの取り組み状況についての情報共有
- 7) 専攻長会議の実施
- 8) 大学院博士後期課程プレF D科目の開講
- 9) F Dニュースの発行

【学科としての取り組み】

- 1) 薬学教育に係るF D研修会の実施（年2回程度）
- 2) 新任教員に対する薬学教育および薬学共用試験に関する説明会の実施
- 3) アクティブ・ラーニング授業に関する意見交換会の実施

3 その他

- 1) クラス担任制・少人数担当制（アカデミックメンター制度）
- 2) 入学生実態調査・学生実態調査
- 3) 海外研修制度の充実
 - MUSCプログラム（アメリカ分校への約1か月の留学プログラム）…大康2～4年の夏休み
- 4) 教育実習の引率指導
- 5) 附属中高教員を交えての学生指導及び研修会の開催
- 6) 健康・スポーツ科学科および食物栄養学科との連携による3学科連携協力科目の実施
- 7) 卒業生による講演会の実施

大学院 臨床教育学研究科 臨床教育学専攻

「教員養成の教育の質向上に係る取り組み」

別に定めている目標に鑑み、社会人大学院生の臨床的、実践的な力量の更なる向上をはかるため、本研究科では次のような取り組みを行っている。

まず、創設以来の独自科目として「実地研究」を設け、教育・福祉施設等の現場に赴いて実践の場で教職員の声を直接聞くなど、現場に即した取り組みに触れられるようにしている。

また、教育・心理・福祉分野の教員が協同して担当する「臨床教育学総合演習」では、一つの事例を三つの領域から検討し、理解の深化を図っている。研究科全体として、絶えず今日性と求められる質を担保するよう努めている。

さらに、授業以外にも学びの場を多く設け、様々な領域の実践者と触れ合い、情報を交換できる機会の提供をしている。

年度を通して講演会等を複数回開催し、先端の学術的知見に触れる機会としている。専門家による小講演や、様々な臨床現場で活動している実践者を招いての意見交換の場としての臨床教育研究懇談会を開催し、幅広く臨床現場の知見に触れられるようにしている。

これらに加え、本専攻大学院学生の中の教育以外の分野（福祉・医療等）の専門的職業人との議論により、教育現場における最新の問題を異なった視点から検討・考察し、多面的なアプローチができるように資質向上をはかっている。